

A TopTech、28nm/20nm プロセスの配置配線を改善するために Berkeley Design Automation の Analog FastSPICE™ Platform を選択

ナノメータ SPICE 精度を従来の SPICE と比較して 5 倍から 10 倍高速に達成

2012年7月10日、カリフォルニア州サンタクララ発 – 世界最高速のナノメータ回路検証ツールを提供する Berkeley Design Automation, Inc.は本日、IC設計の様々な課題に対応する次世代物理設計ソリューションのリーダーA TopTechが、28nm および 20nm の先端プロセステクノロジーノード向け Aprisa 配置配線製品のタイミング解析の精度を改善するために Berkeley の Analog FastSPICE (AFS) Platform を選択したことを発表しました。

「Aprisa のタイミングドリブン配置配線テクノロジーでは、先端テクノロジーノードで SPICE レベルの精度を達成するため絶えずキャリブレーションが行われています。」 A TopTech の CEO、Jue-Hsien Chern 氏はこのように述べています。「当社が Aprisa の 28nm/20nm 向けタイミングドリブン配置配線のキャリブレーションに Analog FastSPICE Platform を選択したのは、ナノメータ SPICE 精度を従来の SPICE よりも 5 倍以上高速に処理することができ、大規模なポストレイアウトのキャリブレーションに必要なキャパシティを備えているからです。」

Analog FastSPICE Platform はナノメータ アナログ、RF、ミックスシグナル、カスタムデジタル回路設計のための世界最高速の回路検証プラットフォームです。20nm までファウンドリ認証を受けた AFS Platform はナノメータ SPICE 精度を他のシミュレータと比較してシングルコアで 5 倍～10 倍、マルチコアでは 2 倍以上高速に達成します。回路キャラクタライゼーションに関しては、AFS Platform は業界唯一の包括的なシリコン精度のデバイスノイズ解析機能を有しており、コア数に応じて線形に近いパフォーマンスの高速化を達成できます。大規模回路に対しても 1000 万素子を超えるキャパシティを提供し、最も高速な SPICE 精度に近いシミュレーション、最も精度の高いミックスシグナルシミュレーションを実現しています。AFS Platform は、AFS 回路シミュレーション、AFS Transient Noise Analysis、AFS RF Analysis、AFS Co-Simulation、AFS Nano SPICE のライセンスで構成されています。

「A TopTech が同社のタイミングエンジンのキャラクタライゼーションおよびキャリブレーションに AFS Platform を採用されたことをたいへん嬉しく思います。」 Berkeley Design Automation の社長兼 CEO、Ravi Subramanian はこのように語っています。「高精度なタイミング収束とサインオフは IC 設

計者にとって極めて重要であり、ATopTechが採用したことはAFS Platformの精度、パフォーマンス、キャパシティの利点を明らかにしています。」

Berkeley Design Automation について

Berkeley Design Automation Inc. はナノメータ回路検証をリードする企業として知られています。同社は世界最高速のナノメータ回路検証プラットフォーム、Analog FastSPICEと傑出したアプリケーション専門知識によりナノメータ回路設計課題を解決します。100社を超える企業がBerkeley Design Automationの製品を使ってナノメータ スケールの回路を検証しています。Berkeley Design Automationは業界での数々の賞を受賞し、その技術的リーダーシップとエレクトロニクス産業への貢献で広く認知されています。同社はWoodside Fund、Bessemer Venture Partners、パナソニック株式会社、NTTファイナンス社、株式会社アイティーファーム、三菱UFJキャピタル株式会社が出資している未公開の企業です。詳しい情報は <http://www.berkeley-da.com> をご覧ください。

ATopTechについて

ATopTechはEDA物理設計インプリメンテーションのエキスパート チームにより、65nm以降の設計課題に対応する新しいテクノロジーを基礎から開発するために2004年に設立されました。この取り組みにより開発されたAprisaは2006年12月に顧客向けに出荷開始され、これまで数百件のテープアウトを実現してきました。Aprisaは現在、数件の28nm設計に使用されています。2009年にリリースされたApogeeは、Aprisaを補完する総合的なトップダウンフロアプランニングとチップアセンブリツールです。Apogeeは数十件のテープアウトで使用されています。詳しい情報は <http://www.atoptech.com> をご覧ください。

Analog FastSPICE、AFS Nano、WaveCraveはBerkeley Design Automation, Inc. の商標です。Berkeley DesignならびにBDAはBerkeley Design Automation, Inc.の登録商標です。AprisaならびにApogeeはATopTech, Inc. の商標です。ATopTechはATopTech, Inc. の登録商標です。その他すべての商標は各所有者の知的財産です。

PR for Berkeley Design Automation – Cayenne Communication LLC

Michelle Clancy, 252-940-0981, michelle.clancy@cayennecom.com